

(学年) 1 学年, (教科) 道徳 (人権)

協働学習

(主題) 共に生きる

(本時のねらい)

災害発生時に起こりうる人権問題を解決する意欲を高めるとともに、地域社会の一員として主体的にすべての人の人権が尊重された社会を実現しようとする態度を養う。

(ICT 活用方法)

分かりやすく写真を提示し、生徒の興味関心を高めるために電子黒板を用いる。また、学習課題に対する自分の考えや班の意見を学習端末や電子黒板を用いて学級全体に提示し、円滑に発表・話し合いができるようにする。

(本時の展開)

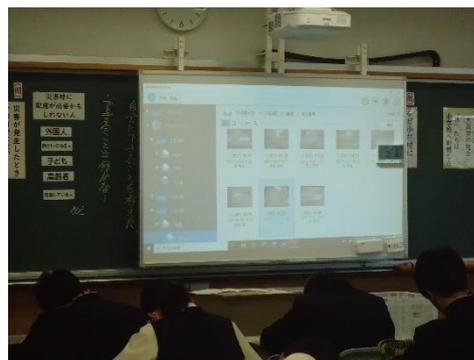
時間	学習活動	主な発問	指導上の留意点と I C T活用方法
導入 5分	・写真を見て思ったことを自由に発表する。	・この写真を見て、どんなことを感じましたか？	・中学生が震災ボランティアを行っている写真を電子黒板に示し、本時の学習の方向付けをする。
展開 35分	・「私」たち三人の気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ小学校に居づらくなってその場を離れたのだろうか？ ・弟の姿を見たときは、3人はどう思っただろう？ ・どのような思いで貼り紙を作ったのだろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に読んでいる教材について、あらすじを確認する。 ・班をつくり、周囲の生徒と話し合う時間を設定し、積極的に意見交換ができるように支援する。 ・「私」たち三人が、災害からの復興を人任せにしてしまっていると気付いたことを理解させる。 ・「私」たち三人が抱いた、地域のために貢献したいという思いに共感させる。

<p>展開 35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時において、互いの人権を大切にするために、地域社会の一員として今の自分にはどのようなことができるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生したとき、地域社会の一員として今の自分には、困っている人のためにどのようなことができるだろう？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢者、障がいのある人、外国人などが災害時要援護者になりやすいことを確認し、積極的な支援が必要であることを確認する。 ・具体的な生活の場面を想定し、自分ができることを考えさせ、発表させる。 ・班の意見を授業支援クラウドアプリに記入させ、発表させる。
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、これからの自分の生き方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を終えて、これから大切にしたいことを書いてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや考えたことをまとめさせ、自分自身の生き方につながるのか、考えさせる。

(授業の様子)



電子黒板で写真を提示している様子



各班の意見を提示している様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒たちは各班の意見を聴覚だけでなく、視覚的にもとらえることができ、発表や話し合いを通して新たな視点や考えをより深く身につけることができた。一方で、授業支援クラウドアプリに意見を書き込むことやデータを送受信することに不慣れであり、想定していたよりも多く時間がかかった。そのため、授業支援クラウドアプリでの意見を書き込む方法やデータの送受信の方法を身につけさせ、スムーズに意見交換に移れるように技能を身につけさせる必要がある。また、一人一人がその技能を身につけることができれば、班の意見だけでなく、個人で意見を記入させ、さらに多様な意見の交流を行うことができる。